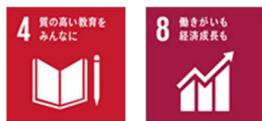


普及現地情報



| | |
|-------|---------------------|
| 発信年月日 | ： 令和5年(2023年) 9月 7日 |
| 所属名 | ： 高島農業農村振興事務所農産普及課 |
| 番号 | ： H23008 |
| 部門分類 | ： 160 (果樹) |
| 発信者名 | ： 山下 |

令和5年産 高島いちじく 出荷スタート

令和5年8月24日にJAレーク滋賀安曇川営農経済センターにおいて、高島いちじく出荷前研修会が開催されました。栽培管理技術等についての講義の後、市場の担当者同席のもと市場出荷者の目合わせを行いました。



高島市内のイチジク栽培面積は約1.7ha、栽培者は20名で、そのうちJAに集荷されるものだけが「高島いちじく」として、市場および生協に出荷されています。過去3年間で出荷量は2倍に増加し、販売単価は1.07倍に向上するなど、出荷者の生産努力と厳しい選果により、高島いちじくの市場評価は高まっています。

この流れを切らさないように、等かはこのいちじく出荷前研修会において、良品生産を図るための栽培管理技術の講師として研修会開催を支援しました。

当日は2名の出荷者が朝に市場出荷用として収穫した商品を持参され、滋賀びわ湖青果株式会社の果実担当者同席のもと良品出荷・価格向上に向けた目合わせを行いました。

今年度は生育の遅れから市場出荷は8月18日からと昨年の8月10日出荷より約1週間ほど遅れましたが、市場価格は8月31日時点で1パックあたり270円(300gパック)と高単価を維持しています。

雨除けが無く、露地作であることから、廃棄や収穫時の苦労を軽減するためにややかために収穫する必要がありますが、出荷者が良質な果実を生産し、選果の「目」を磨き、所得向上を図れるよう、引き続き支援していきます。